

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良さと強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第6号
(R7.6.26)

坂田小学校
校長 金城美奈子



第一回 学校運営協議会開催

5月25日(日)に第一回学校運営協議会を開催しました。授業参観をして頂いた後に、学校運営協議会で学校経営方針について説明し、学校と地域の連携・協働にむけて話し合いを行いました。

学校運営協議会の目的は、下記のとおりです。

「協議会は、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、西原町教育委員会及び学校の校長の権限と責任の下、地域の特色を活かし、保護者及び地域住民等の学校運営への参画と協働を進めることにより、学校と地域住民等との双方向の信頼関係を深め、西原町の子ども達の豊かな学びと育ちを創造することを目的とする。」

学校運営協議会委員の紹介(敬称略)

城間勝(元中学校校長)、与儀朝栄(幸地ハイツ自治会長)、翁長勲(幸地自治会長)、石原由美子(上原自治会事務局)、大城ゆかり(町民生委員)、又吉武(PTA会長)、山城愛(地域コーディネーター)、金城美奈子(校長)、荷川取大輔(教頭)、高安純子(教務主任)



～平和月間スタート～

6月4日(水)に「平和ってどんなこと」と題して、校長講話を行いました。SDGsの16番目の目標「平和と公正をすべての人に」を実現させようという内容にふれ、世界中のみんなが力を合わせて問題を解決していくために立てられた目標であることを話しました。

また、唯一の地上戦を体験し多くの犠牲者を出した沖縄戦にふれ、「平和ってどんなこと？」を問い、一人一人がたった一つのかげがえのない「尊い命」を大切にできること、「みんなが平和で、公正な生活をおくる」ために自分ができる事は何かを考えてもらいました。さらに、みんなの周りに「おもいやりの心があふれていること」を示しました。「整理整頓された書棚」「次の人が使いやすく並べられたトイレのスリッパ」「安心して歩けるように気づかせてくれる掲示物」「力を合わせて清掃活動を頑張る児童」「元氣な挨拶」・・・当たり前のことをがんばること、ふわふわ言葉と思いやりの心をみんなの心にひろげて欲しいと思います。特に6月は平和や戦争について考える大切な時期です。坂田小学校では、各学年においても様々な平和学習を行っています。



みんなをきいて、かんしゃしてくれている。「ありがとう」のふわふわ言葉があふれている。



「みんなが平和で、公正な生活をおくれる」ために
じぶんができることは？

～平和集会開催～

6月20日(金)に平和集会を実施しました。平和集会のねらいは、「沖縄でも戦争があった」という事実を知り、そこから「平和の大切さ」について考えることです。

「読みあいネットワーク 喜楽星7」の皆様による「てっぼうを持ったキジムナー」の読み聞かせが行われた後に、6年児童代表 比嘉優奈さんからのお礼の言葉、6年生による「平和のメッセージ」と歌(「いのちのリレー」)、全校児童による歌(「沖縄から平和の歌を」)があり、全校児童で平和について考えることができました。6年生全員による平和のメッセージでは、「当たり前」のことが当たり前でできる「願う平和から創る平和へ」「自分にできることは何か」「ぬちどう宝」の力強い言葉があり、子ども達一人一人が今、自分にできることは何かを考えることができました。坂田っ子のみんなが、命の尊さに気づくことができました。ご家庭でも「平和について」話題に上げ、平和な日々を継続する為にできることを子どもと一緒に考える機会にして欲しいと思います。

